

【NEWS RELEASE】

2024年3月26日

各 位

株式会社三井住友フィナンシャルグループ
株 式 会 社 三 井 住 友 銀 行三井住友銀行大阪中央支店ビル建替え計画に関するお知らせ

株式会社三井住友銀行（頭取 CEO：福留 朗裕、以下、「三井住友銀行」）は、大阪中央支店ビルについて、2023年5月16日付で大阪市指定有形文化財（以下、「文化財」）に指定された本館部分※を保存・活用するとともに、隣接する新館の建替えを一体的に行うことで、新たなランドマークを創出することを目指し、検討を進めてまいりました。

昨日、大阪市の都市計画審議会において、建替え計画（以下、「本計画」）に係る都市計画案が「特定街区」として審議・可決され、都市計画決定される見込みとなりましたので、本計画についてお知らせいたします。

具体的には、本館は、安全性の向上を図るとともに、竣工当時の外観・内装に一部復原を行うことで文化財としての価値を高めること、また、新館については、環境にも配慮しつつ、本館や周辺環境と調和した外観を備えた地上31階建の建物に建て替えることを計画しております。

開業後は、株式会社三井住友フィナンシャルグループ（執行役社長グループ CEO：中島 達、以下、当社グループを総称して「SMBC グループ」）の中核拠点としての活用を計画しており、グループ一体となって、さまざまなソリューションをご提供し、お客さま・社会の発展に貢献することを目指しております。

また、文化財として魅力的な本館内部空間を活かした各種イベントの開催、ビジネスマッチングやセミナーの実施、スタートアップ支援機能の整備等、にぎわい施設として地域に開かれた交流拠点として活用することも検討しております。

SMBC グループでは、「サステナビリティ」を「現在の世代の誰もが経済的繁栄と幸福を享受できる社会を創り、将来の世代にその社会を受け渡すこと」と定義し、サステナビリティの実現に向けて行動していくことを宣言しています。本計画においても、約90年にわたり船場地区の景観形成や文化・産業形成に寄与してきた本館の歴史的価値を保存・活用するとともに、日本の再成長を支援する拠点として活用することで、サステナビリティを実現し、社会に貢献してまいります。

【建替え後の建物概要】

所在地：大阪府中央区高麗橋一丁目8番13号

敷地面積：約2,700㎡ 延床面積：約33,400㎡ 建物規模：高さ約150m、地下2階・地上31階
構造：鉄骨造、鉄骨鉄筋コンクリート造、鉄筋コンクリート造

開業時期：2030年度（予定）

（現時点での計画であり、変更となる可能性があります。）



外観イメージ



建物配置図



本館外観写真（現状）

※本館の文化財指定について

1936年（昭和11年）に旧三井銀行大阪支店として曾禰中條建築事務所の設計にて、鉄骨鉄筋コンクリート造の地上4階、地下1階建ての銀行建築として建設され、約90年にわたり利用してまいりました。

江戸時代以来、三井家が大阪の拠点としてきた由緒ある場所に、昭和前期の銀行建築の趨勢にならった新古典様式によるもので、外観は東京の三井本館からの影響を色濃く示し、イオニア式柱頭飾には古代ギリシア的な特徴があり、内部の営業室や客溜にあるコリント式の柱列や八角形の格間天井は意匠的に高い完成度として評価をいただいております。天井中央には八角形の大きな天窓を配置しております。外部は北木島産の花崗岩で化粧し、内部にはイタリア産の大理石を多く使用し、北浜の歴史的景観形成に大きく貢献してきました。

また、優れた建築作品を多く残した曾禰中條建築事務所による最後の仕事であり、その集大成ともいえる傑作と評価いただいております。

以 上